

2022年度 学力検査（国語）問題	受験番号	氏名

【注意】答えは全て解答用紙に記入すること。試験終了後、問題用紙も提出すること。試験時間は30分。

1. 次の【 】部の漢字を、ひらがなに直し答えよ。

- [01] 責任者が【陳謝】した
- [02] 図書を【閲覧】する
- [03] 【改訂】版が刊行された
- [04] 組織の【陰謀】をあばく
- [05] 数学に【卓越】した能力を発揮した

2. 次の【 】部のカタカナを、漢字に直し答えよ。

- [06] 畑に【ヒ】料を施した
- [07] 生徒会役員に【スイ】挙された
- [08] 野菜と豆【フ】をなべで煮る
- [09] 気晴らしに繁【カ】街を歩き回った
- [10] 戦争の【キョウ】威にさらされる

3. 次の【 】部のカタカナを、漢字に直し答えよ。

- [11] 【イッキ】一憂
- [12] 【テキシャ】生存
- [13] 【ヘイオン】無事
- [14] 栄枯【セイスイ】
- [15] 当代【ズイチ】

4. 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。

- イ 同じような意味の字を重ねたもの
- ロ 反対・対応の意味を表す字を重ねたもの
- ハ 上の字が下の字を修飾しているもの
- ニ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの
- ホ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの

次の[16]から[20]までの熟語は、上記のどれにあたるか、最も適切なものを選び、記号で答えよ。

[16] 尊卑

[17] 既知

[18] 潜水

[19] 波浪

[20] 暫時

5. [21]～[25]の各文の「顔」の意味としてふさわしいものを【 】から選び、記号で答えよ。

- [21] 交渉相手の顔色をうかがう
  - [22] 親の顔に泥をぬる
  - [23] 彼を助けなければ、私の顔が立たない
  - [24] 彼はこの世界では顔が広い
  - [25] 業界に詳しいあなたに顔をつないでもらいたい
- 【イ 関係 ロ 世間体 ハ 出方 ニ 名誉 ホ 有名】

6. [26]～[30]の各文の（ ）に入る接続表現として最も適切なものを【 】から選び記号で答えよ。

- [26] 毎日ジョギングをしている。（ ）、体調が良い。
  - [27] 「早起きは三文の得」という。（ ）、実践は難しい。
  - [28] 通勤途中で転倒し、（ ）、財布までなくした。
  - [29] 彼は私の父の弟の息子、（ ）、いとこです。
  - [30] 徒歩、（ ）、公共交通機関を利用してお越しく下さい。
- 【イ あるいは ロ すると ハ そのうえ ニ だから ホ たとえへ つまり ト ところが チ ところで リ なぜなら ヌ もしも 】

7. [31]～[35]の（ ）に身体に関係のある漢字1字を入れ、慣用句を完成させよ。

- [31] （ ）がすわる  
（ ）が立つ  
（ ）にすえかねる
- [32] （ ）が低い  
（ ）が重い  
（ ）を折る
- [33] （ ）が痛い  
（ ）が早い  
（ ）にたこができる
- [34] （ ）が利く  
（ ）がくらむ  
（ ）がさめる
- [35] （ ）が高い  
（ ）であしらう  
（ ）につく

8. [36]～[40]の慣用句はどんな意味を表しているか、最も適切なものを後の【語群】から選び、記号で答えよ。

- [36] 悪銭身につかず
- [37] 青菜に塩
- [38] 親の心子知らず
- [39] 住めば都
- [40] 竹馬の友

【語群】

- イ 苦しみにたえれば、いずれ報われるということ
- ロ 幼いころからいっしょに遊んだ友達のこと
- ハ 同類のものにしか分かり合えないことがある
- ニ 相手の手ごたえや反応が薄く張り合いがないこと
- ホ 悪いことで得た金は、結局なくなってしまうこと
- ヘ 思いがけないことが起こってびっくりすること
- ト 親の心も知らずに、子が勝手気ままにふるまうこと
- チ 何度失敗してもくじけず、立ち上がってがんばること
- リ ものごとがうまくいかず元気がないこと
- ヌ 住み慣れれば、どんな土地でも住みやすいこと

9. 次の文章をよく読んで後の問に答えよ

二次利用防止のため削除させていただきました  
あしからずご了承ください

＜広中平祐「学問の発見」より＞※一部省略等がある  
(注\*) 銘記＝心に深く刻みつけて忘れないこと  
億劫＝めんどろで気が進まないさま  
因縁＝前世から定まった運命、宿命

[41]この文章を二つに分けるとすると、後半はどこからか。  
後半の初めの段落の番号を記せ。

[42]下線部①「そう思えば」とありますが、「そう」が指し  
示している内容の説明として適切なものを次から一つ選び、  
記号で答えよ。

- イ 学問の世界では発見と創造をするために知識を集めたり、  
読書したりすることが、考えること以上に大切である。
- ロ 学問の世界では知識の収集や読書は考えるためにするもので  
あり、考えることの喜びが発見と創造の喜びにつながる。
- ハ 学問の世界では知識を集めたり読書をしたりすることは、  
発見と創造のきっかけにすぎず、すぐに忘れてもかまわない。
- ニ 学問の世界では知識の受け売りは評価されず、発見と創造  
につながらない知識や読書は、無理に行わなくてもよい。

[43]下線部②「学ぶこと自体が億劫になってしまう」とあるが  
それはなぜか、次の文の( )に当てはまる言葉を5文字で記せ。

・考える材料として耳で聴き、体で感じ、目で読んで得たことを、  
( )も忘れ去ってはならないと思って、学ぶ前に疲れてしまう  
から。

[44]( )に当てはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えよ。

- イ では
- ロ ところが
- ハ あるいは
- ニ さらに

[45]この文章の内容と合っているものとして適切なものを  
次から一つ選び記号で答えよ。

- イ 学んだ知識を生かし発見と創造につなげるためには多くの人の  
協力を得ながら、逆境を克服していくことが必要である。
- ロ 現在の恵まれた環境に満足せずあえて逆境を求めて学び続け  
ることにより、新たな発見と創造を生み出すことができる。
- ハ 発見と創造こそが学問の本来の意義であり人が何かを創造  
するときにはその条件として逆境を必要とすることが多い。
- ニ 多くの知識を集め読書に励むことで発見と創造の喜びが味わ  
え、逆境を自分の人生に生かすことができるようになる。

以上